

ジガバチソウ

Liparis krameri Franch. et Savat.

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

もともと稀産ではあるが時として見られる種類であったが、現在は著しく減少している。(現況:RO)

形態

茎は偽球茎で、葉は2枚であるが、唇弁の先端が尾状に突出する点に特徴がある。花茎は高さ8~20cm。10~20花を着ける。花色をはじめ、種内分化がある。

国内分布

北海道、本州、四国、九州、さらに朝鮮に分布。

県内分布

加賀中央区、南加賀区。

生態など

地生の多年草草本。開花期は5~7月。

生育環境

山林の林床に生育。

危険要因

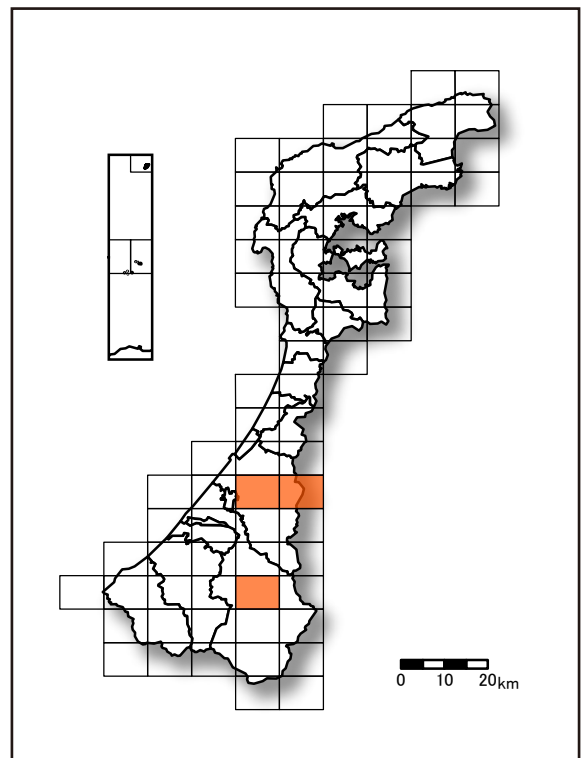
園芸採取、動物食害。

特記事項

里山の管理放棄なども減少の原因と考えられ、危険要因に想定されるが報告にはない。



白井伸和・2005年6月12日



県内の分布